



認定特定非営利活動法人

RASA-Japan ニュースレター

理事長 藤井 典夫

〒468-0014 名古屋市天白区中平2-2627 Tel/Fax 052-803-1649

ホームページ <http://rasa-japan.com> e-mail info@rasa-japan.com

郵便振替 口座番号 00890-4-31185

受取人 特定非営利活動法人RASA-Japan

三菱UFJ銀行 平針支店 普通 0037025

トクティヒエイリカゾドウホウジンラサジャパン

2020.7
Vol.34

フィリピンの現状

理事 藤井 忠子

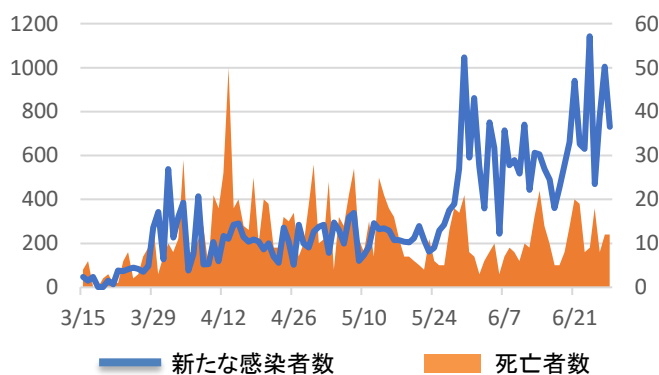
フィリピンでは3月、アジアで最初に感染防止対策を出して都市封鎖に踏み切り、警察や軍隊を動員し、厳しく外出や移動を封じ込めたこともあり、感染者数合計は4月当初2,300人でした。しかし、経済の劇的な落ち込みに目を向けざるを得ず、5月半ばに制限を一時解除、その2週間後の月末には新規感染者数が1,000人を超える日も出るくらい爆発的に感染が拡大、感染者数合計は35,000人(6月28日付)を超えております。

1億を超える人口を抱えながらも、医療施設や装備が極めて脆弱であり、さらに来院者の不正確な申告も感染拡大の要因となっています。医療現場では不眠不休の対応がされる中、感染者の15%が医療従事者と判明(他国は2~3%)。医療体制向上のため、政府は予算を大きく充当しました。都市封鎖は、国民の30%の下位所得者(社会的弱者)が直接影響を受け、しかも想像を超える実にひどい状態です。規制で仕事が皆無。収入も貯えも無い。移動できず「三蜜」状態の住まいに閉じこもるしかない。衛生状態が悪い。家に食べ物が無い。抵抗力がなく、感染しても回復や治療が望めないのではという最悪の危惧も。社会的弱者に政府の目が行き届かず、PCR検査が行き届くには時間がかかり、感染者数に入っていないのではないかとされています。

小学校は例年6月から新年度に入りますが、コロナの影響で休校中。8月末にやっと授業が始まる予定です。けれども、自宅でオンライン授業の予定で、インターネット環境とパソコンなどの受講端末を持っていることが受講の条件です。政府も国民もその条件を満たすのは難しく、ますます教育の格差が広がると先生方も危惧しています。児童に機器を与え、通信環境を整えることがすぐ解決されるとは到底思えません。

給食支援児童は給食を食べることができず、栄養失調で命の危険にさらされていないか懸念されます。

新型コロナウイルス感染症の推移



配達したお米に喜ぶ支援児童と家族

RASAでは、6月1日に制限が解除され、安全に配達できる地域の支援児童50人にお米を5kgずつ配りました。「大きな支援だ!」と大喜びの児童と家族。政府の支援金やお米の配給が発表されていますが、支援が届かない問題が起き、地区の有力者支援や先生、有志の協力でお米や食料の配布が行われている現状です。

今年度、RASAの給食支援活動は現在できないため、校長先生から現実情に合った支援の提案が今月届きます。学校も非常事態で支援の仕方についても、困惑している状態です。一日も早く現地の実情に合った必要な支援ができることを願うばかりです。

フィリピンの子供たちにあたたかい支援をお願いいたします

新型コロナウイルス(以下COVID-19)の世界的な流行が私たちRASA-Japanにも大変大きな影響を与えています。定時会員総会の会場予約や書類、備品などの準備も整え、本番を迎えるだけとなっております。しかし、監督官庁から「三密」を避けるために最小限の陣容で総会を開催するようにとのアドバイスがあり、急遽事務所の会議室で理事や限られた方の出席での開催に変更して行いました。

私たちRASA-Japanも100年に一度といわれるこの病COVID-19に不幸にして罹られた方、あるいは医療現場で献身的な治療にすべてを犠牲にして携わっておられる方、感染の終息に向けて取り組むすべての方々に深く感謝の気持ちを伝えたいと思います。

2020年度RASA-Japanの日本国内での活動は、大学での授業をはじめとして大学や学生との協働による学内活動がオンライン授業の今は、学内への立入禁止で全く活動ができません。一方、活動地であるフィリピンはというと、現地との協議のために赴くことすらできないため、今年の活動はすべて休眠状態にせざるを得ないことから、総会で活動中止を決めていただきました。

今年2月19日に学校建設プログラムと建設ボランティア派遣事業が間一髪でCOVID-19の世界的大流行直前に終了し、32名のボランティア全員帰国いたしました。栄養失調児童への給食支援事業は、6月から始まる2020年度の活動計画を現地責任者の校長先生との細部協議を残したまま、3月から中断している状態です。活動内容を契約書にまとめる寸前で、すべての作業がストップしてしまいました。

2019年度決算は次ページにありますように、約440万円的大幅な支出超過となってしまいました。事務局ではボランティアの航空券購入は旅行社に一括して発注していましたが、航空会社から一人ずつ直接購入するなどして、経費を大幅に削減する努力もしてまいりました。収入の面では、会員の高齢化による退会や寄付金の減少、ボランティアの参加学生数が減少したことが要因に挙げられます。

役員一同が収入増加対策を実効性のある活動にしようと現在活動中です。ご支援くださいますようお願い申し上げます。



今年度の活動内容について

理事 本田 直文

新型コロナウイルスの影響で私たちの活動も自粛に伴う諸々の制約を受けており、今後の計画も予測しがたい状況ではありますが、アフターコロナも見据えて、今出来る事を着実に実行してまいります。

【新たな活動資金の獲得に向けて】

- ・出資をインターネットで募るクラウドファンディング導入についての検討
- ・支援者拡大に向け、Facebook・Twitter等のSNSをより一層活用し、幅広い方々にアピールしていくための検討
- ・企業団体の方からの支援を受けるため、対象企業のリストアップ・PR冊子・企業向けホームページ等の作成及びアプローチ方法の検討
- ・コロナ助成金活用可否の検討

【次年度ボランティア派遣に向けて】

- ・募集活動に協力して頂く大学生諸君とのきめ細かい打ち合わせを通じて(当面はオンライン会議)、多くの参加者が見込める効果的な募集方法の検討



理事会・月例会の様子

令和元年(平成31年)度「特定非営利活動に係る」活動計算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

単位:円

科 目	前期決算	当期決算	備 考
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入会金収入	290,000	180,000	会員の年会費
1) 受取正会員会費	180,000	135,000	
2) 受取賛助会員会費	110,000	45,000	
2 事業収入	9,450,000	8,229,688	ボランティア参加費
1) ボランティア派遣事業	9,450,000	8,229,688	
3 補助金等収入			
1) 受取助成金			
2) 受取補助金			
4 寄付金収入	5,861,918	5,143,104	
1) 受取寄付金	5,861,918	5,143,104	手を貸す運動Ⅱ 他寄付金
5 雑収入	9,615	16,763	
1) 受取利息	34	48	銀行利息
2) 雑収入	9,581	16,715	
経常収入合計	15,611,533	13,569,555	
II 経常支出の部			
1 事業費	14,844,658	15,302,622	
1) 学校建設事業	10,875,278	10,939,348	
2) 栄養障害児救済事業	3,969,380	4,363,274	
2 管理費	2,696,466	2,710,158	
1) 人件費		798,950	
給与 手当		798,950	パート勤務スタッフ1名雇用
2) その他経費	2,696,466	1,911,208	
会議費	90,824	102,878	会議関連費用
旅費交通費	437,618	144,823	航空運賃等
賄費	367,932	198,913	学生の活動関連費用
通信運搬費	248,309	261,902	郵送料等
消耗品費	349,179	71,265	
事務用品費	464,735	359,507	
修繕費	39,080	87,770	
消耗什器備品費	138,452	48,293	
賃借料	415,500	451,000	駐車料他
広告宣伝費		37,800	企業向パンフレット
保険料		11,414	労働保険料
諸会費	16,000	21,500	
租税公課	1,450	2,400	収入印紙等
雑費	127,387	111,743	振込手数料等
経常支出合計	17,541,124	18,012,780	
経常収支差額	▼1,929,591	▼4,443,225	
III 経常外収益			
経常外収益計			
IV 経常外費用			
1) 過年度損益修正損			
経常外費用計			
当期収支差額	▼1,929,591	▼4,443,225	
前期繰越額	12,446,269	10,516,678	
次期繰越収支差額	10,516,678	6,073,453	

学校建設ボランティア活動アンケート

2月の学校建設ボランティア活動から早5ヶ月。帰国反省会を新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止といたしました。参加された皆さんと活動を振り返り、感じたことや意見などを聞き、共に考える会でありましたので、残念でなりません。

そこで、郵送でアンケートを実施し、体験を通して考えてほしい「5つのテーマ」についてお答えいただきました。フィリピンでの活動で得たことや学んだこと、気づいたことが多い参加者の声を紹介させていただきます。



フィリピンで「人の幸せ」について、どのように感じましたか？

- ・笑顔が絶えず、楽しく生活を送ること。お金が無くても楽しく生きる姿を見て、素晴らしいと思った。
- ・日本では気付かなかった、家族と一緒に過ごす時間を大切にすることが幸せに繋がるライフスタイル。
- ・フィリピンで多くの幸せを感じた。日常こそが一番の幸せと身に染みて感じ、自然と涙が出てきた。
- ・物で満たされる「幸せ」ではなく、人とのつながりがもたらす「幸せ」の方が大切である。
- ・幸せに基準や普通なんてものはない。人それぞれの幸せのあり方がある。

フィリピンにあって日本にないもの、日本にあってフィリピンにないものとは、何ですか？ そして、あなたが生きていくうえで「大切なもの」とは何だと思いますか？

フィリピンにあって、日本にないもの	日本にあって、フィリピンにないもの
人とのつながりの強さ(皆家族という考え方)	人と人との距離感
ゆったりとした時の流れ	時間に追われた生活
子どもをみんなで育てる地域環境	学ぶ環境、娯楽の幅広さ
家族愛、温かみのあるコミュニケーション	家での静かな時間
賑やかな環境	様々な物資や衛生面が整った生活環境
地域全体のつながりと助け合い	経済力

「大切なもの」とは…

- ・レッテルや噂、周りの環境等に流されず、物事を見て判断する力。
- ・健康的な生活習慣や身近な環境衛生に心掛ける。
- ・自分の価値観を押し付けずに理解し合い、尊重し合うこと。
- ・居場所。自分らしく生きていける場所が大切であると考え。
- ・人と関わり、人の温かみに触れるだけで、心が豊かになる。
- ・相談できる人がいつも近くにいるという関係を築けること。
- ・今の私たちは、コミュニケーションを大切にすべきだと思った。



現在の日本は便利で不自由のない豊かな生活環境ですが、自殺率が深刻な状況です。「本当の豊かさ」について、どう思いますか？

- ・心の余裕。仕事や要望を成し遂げることは大切だが、ゆったりとした心の余裕を持つことが必要だ。
- ・自分の居場所がある。ありのままの自分を受け入れてくれる場所や信じていることができる人がある。
- ・人々の助け合い。人々がより助け合うことで悩みが減り、自殺者数が減少するのではないかと考える。
- ・お金ではなく、人。人間関係で悩むけれど、人生が豊かになるのは人間のコミュニケーションだ。
- ・「お金では買えないものがある」ということが、本当の豊かさではないかと思う。
- ・「自殺者数が多いから豊かではない」と言い切れるのもでもないと思う。フィリピンに行ってみてほしい。

発展途上国では「絶対的貧困」、先進国では「相対的貧困」が多く、共に貧富の格差が広がっている現状です。貧困撲滅の解決方法として国や個人でどのようなことをしたらいいと考えますか？

- ・教育の充実が必要だ。教育を十分に受けることができなければ、大人になっても貧困から抜け出せないと思う。
- ・資本主義では「相対的貧困」は仕方がない。まず、「絶対的貧困」を無くすべきだ。
- ・無駄を無くし、一人一人が環境問題や貧富の差について考え、行動するだけで変わってくると思う。

国がすると良いと思うこと	個人がすると良いと思うこと
教育分野の取り組み促進、学校無償化	募金活動やボランティアに参加する
政治家の給与を減らし、貧困者に経済支援	実際に自分の目で見て体験する
貧困現状や格差の事実をしっかりと伝える	困った人を助けようという気持ちを個々に持つ
貧困者の多い地域への積極的な公共投資	貧困地域について学び、多くの人に伝える
国境関係なく、お互い助け合う関係づくり	支援グループに関心を持つ(教育や保健など)



フィリピンでのホームステイで家族や人の交流、生き方を見て、人は何を大切に生きていると思いましたか？また、あなたは何を大切に生きていきたいですか？

- ・ありのままの姿を認める心の広さと行動力が素晴らしい。人を受けとめ、助け合いを大切にしたい。
- ・自分にとっての幸せと周りの人にとっての幸せ。幸せを大切に生きていきたい。
- ・今生きていることに感謝して、笑顔を大切に毎日前向きに楽しく生きていくこと。
- ・家族を大切に生きている。家族が揃う時間は少ないが、その時間と家族の絆を大切にしたい。
- ・今日一日をどうやってより良いものにするかを学んだ。目的目標を持った暮らしをすることを大切にしたい。
- ・新型コロナ感染で思い知らされたように、明日も当たり前になんて生活できるという考えを改める。当たり前のことができなくなるかもしれないという気持ちを常に持ちながら生きていきたい。

ご支援者の声

1999年にフィリピンでRASA-Japanの活動が始まり、多くの方々から活動に賛同や応援、アドバイス、活動資金支援を頂いたおかげで、現在まで21年間活動を継続することができました。皆様のあたたかいご支援に感謝申し上げます。今回、6名の方からいただきました、『RASA-Japanへのメッセージ』をご紹介します。



支援のご縁

手を貸す運動 II

代表 佐藤 正明 様

2014年11月、藤井理事長ご夫妻からサウスビル I 小学校の給食支援協力を頼まれ、翌年児童50人分の資金支援に応じ、2016年からは100人に増えて今に至りました。私たちはサマリア人の喩えを原点とし、過去40年間アフリカや中南米の貧しい子らの教育や給食の援助をして来ましたが、RASAさんほどきちんと誠実に報告してくださった団体はありません。

私たちはそれを高く評価し、その尊いご活動に今後も協力したいと思っています。



「手を貸す運動 II」への感謝の意が表されています
(StudyTour歓迎の旗)



三田 洋子 様

1992年から約14年間、南山の近くに住んでいました。その頃、シーランド神父様がお母様からの遺産を基に、フィリピンに学校を建てる活動を一人で始められ、今のRASA-Japanの基盤が作られました。

私は少しでもお手伝いをお願い、教会の名簿から手当たり次第パンフレットをお送りして、寄付金をお願いしました。建設を手伝いに行く学生が、向こうでホームステイして、どうして子供たちの目が輝いてニコニコしているのだろうと、神にふれられて帰国するようで、私にとって大きな喜びでした。

皆様のご努力で、小さかった活動も今では基盤がしっかりしてきたのも喜びです。これからもRASAに若いメンバーが増え、活動し続けられるよう、心からお祈りいたします。



RASAの未来

前理事長

John Seland 様

この時点では、RASAの将来のための計画を立てるのは難しいです。それでも、私たちが何をすべきかを考えるのは良いし、分別のあることです。RASAは非常に良い状態です。藤井夫妻とスタッフの皆さんは豊富な経験を持っており、ボランティアプログラムの運営は堅固です。そのうえ、RASAの学校建設ボランティア

活動の参加呼びかけに対して、多くの学生達が意欲を持って参加をしています。

しかし、いくつかの問題点があります。まず、建材のコストが大幅に上昇し、必要な資金を調達するために更に多くの努力が必要であるということです。次に、ウイルスは今後も再発する可能性があります。私はRASAが少なくとも1年間、建設プログラムを延期することを提案します。これは、次の建設プログラムの資金を集めるために、またボランティアを集めるために、より多くの時間が使えるでしょう。

主がこの非常に良いボランティアグループRASAを導いてくださることを主に祈りましょう。

※今年2月に来日。しかし、コロナの影響でフィリピンに帰国することができず、現在も滞在されています。



三谷 一浩 様
みどり 様

一カトリック平針教会での
インタビューから一

平針教会の先輩で、RASAの長年ご支援者です。
南山大学のRASAのボランティア学生のご先輩でもあり、
今回面談の機会を得ました。

「戦後数年苦しい時代の小学校時代から中学卒3年頃を振り返り苦学ながらも勉学に励み、高校への進学を夢見ていた頃、家計の事情で夢を断念せざるを得なくなりました。その時、引揚者で父に世話になった人が現れ、父への恩義を忘れず、私を進学させてくれたのです。そして、合格を我が子のこのように喜び、励ましてしてくれたことで、私はさらに勉学に励む

力を得られたことか。今でも忘れることはありません。

また、私がマリア様と思い慕っているクリスチャンだった義母は、自分が命のように大事にしきた形見のバイオリンを売って、私の南山大学への進学をかなえてくれたのです。私が助けられた経験を思い、貧しい気の毒な人を助けずにはおれない。ご恩返しとして、支援しているのです。」

さらに、奥様からハッと気付かされる、大切な生き方をされてきたことを伺いました。

「結婚当初から、ずっと家計の中から必ず『公共費』を引き当てて、生活してきました。」

公共費とは、友の会【羽仁もと子氏設立婦人之友社】の家計簿の支出項目の一つで、家庭は社会につながる『他の人の為に役立てる費用』の意味です。

御夫妻は家族が多い中にも、社会の事情にも思いを寄せ、外へ向けた歩みを続けてこられたことを知ることができました。

インタビューアー 理事 藤井忠子

浦野 聖 様

私がRASAに参加したのは、2004年、南山大学総合政策学部2年次です。私にとって初海外だった3週間のフィリピン生活は、すべてが新鮮で、衝撃的でした。いかに日本の生活が恵まれているか、本当の豊かさとは…と考えずにはいられず、国際協力を意識するきっかけとなりました。

卒業後、3年間の公益法人勤務を経て、ちょうど10年前の2010年から1年間、『ドイツ国際平和村』での住み込みボランティアに参加し、アフガニスタン、アンゴラ等の紛争地域からドイツへ治療にやってきた、怪我や病気の子どもたちとともに過ごしました。帰国後は、東京でNGO職員となりました。

現在は本業としての国際協力とは一旦お休み中ですが、NGOでの勤務経験を活かし、RASAのことを引き続き応援したいと思います。



ドイツ国際平和村にて



講演会にて

神人
かみひとねっとわーく
京都

蛸名 健仁 様
加奈子様

私たちは、この地球に暮らす全ての生命が幸せに暮らせるようにという思いで、ライブや講演会等を通して、世界の緊急支援・飢餓救済支援・環境保護活動を行っているさまざまな団体に日頃から募金しております。

そんな中、『地球愛祭り』という私共が発起人となって立ち上げたチャリティーイベントが愛知で開催された際に、RASAに出会いました。誠実なお人柄と具体的な支援内容をお伺いし、その直後より応援させて頂いております。一時的な支援に加え、貧困の連鎖を断ち切るための支援が行われていること、ニュースレターからもよくわかる活動内容と現地の皆様の笑顔。私たちも間接的にではありますが、そうした活動に関わらせて頂いていることに大きな喜びを頂いております。

これから子供たちの笑顔のために、頑張って頂きたいと思います。

神人ホームページ <http://kamihito.net/>

組織運営の第三者評価を受けました！

RASAでは、活動に対して健全な組織運営であることを評価していただくために、非営利組織評価センター(JCNE)が提供しております「組織評価」の「ベーシック評価(書面審査)」を受け、「評価基準のすべてを満たしている」と評価をいただきました。

また、当団体財務担当 寺尾嘉泰理事が「NPO法人会計力検定」を2月下旬に受験し、「入門」、「基本」とともに合格いたしました。CANPAN FIELDS(組織情報開示)サイトにおきまして、JCNEから「第三者評価ロゴマーク」と一般社団法人NPO会計力検定協会から「NPO法人会計力検定ロゴマーク」を付与いただきました。

全ての基準を
満たしています。



JCNE

今後も皆様に信頼していただける団体として、組織のガバナンス強化を行い、法令を遵守し、活動と組織運営に取り組んでまいります。

【一般財団法人 非営利組織評価センター(JCNE)】 <https://jcne.or.jp/>

【一般社団法人 NPO会計力検定協会】 <https://npoatt.org>

・JCNE評価結果

<https://jcne.or.jp/org/n2020e158/>



・CANPAN FIELDS(組織情報開示)

<https://fields.canpan.info/organization/detail/1715008486>



第2回 RASA-Japan同窓会 11月21日開催！

お互いの再会を喜び合い、懐かしいひと時を先輩後輩の壁なく、楽しんでいただきたいと思います。

参加ご希望の方はRASA事務局(info@rasa-japan.com または052-803-1649)までご連絡ください。締切 8/16

【日時】 11月21日(土) 17時30分受付開始 21時終了予定

【参加費用】 5,000 円(料理・飲み放題付き)

【場所】 神戸館 名駅店 1F 名古屋駅 徒歩10分
(名古屋市中村区名駅3-8-22)

【注意】 感染拡大等の社会情勢の変化により、中止させていただく場合がございます。ご了承ください。



今後の活動予定

新型コロナウイルス感染拡大のため、今後の活動が未定となっておりますが、今年度給食支援活動再開と次年度学校建設、ボランティア活動を再開できるように準備を進めてまいります。

11月 第2回 RASA-Japan同窓会

RASA-Japanは皆様の会費と寄付金で運営されています

編集後記 フィリピンでの感染者数を見る度に心配が募るばかり。生活用水は濁った水のくみ上げで、トイレなどの衛生環境が悪い貧困地域では、感染予防対策の手洗い・うがいをするこさえ想像以上に困難な環境です。日本との環境の違いだけでなく、貧困地域の感染抑制がとても難しい事なのだと痛感しました。(宮嶋)

ホームページ

<http://rasa-japan.com>



YouTube JP



@rasa_japan



@rasa.japan



@rasa_japan

